

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設
事務事業名	消防団詰所・車庫維持補修費		事業コード	23130

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63
施策名	第3施策	消防力の強化	

## 2 実施根拠及び関連法令等

消防法、消防組織法（第20条 消防長官の助言等）	消防力の基準（消防庁告示第1号）
--------------------------	------------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
消防団詰所・車庫56箇所の機能を維持するための修繕をする。		市民全般	
		対象数	61万市民
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
施設の機能を維持するために修繕等を行った。 消防団詰所・車庫維持修繕 1,310千円 消防団詰所・車庫塗装修繕 489千円 消防団詰所・車庫敷地借料 1,528千円 サイレン施設電柱共架料 11千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

## 4 評価指標

指標名	消防団詰所・車庫維持修繕件数		
指標式	消防団詰所・車庫維持修繕件数		
指標設定の意図	消防団詰所・車庫維持修繕件数		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	14	27	a 20	b 20	20	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算（予算）額	3,489	3,466	3,336	3,338	3,651
	人員・時間数	116h	142h	128h	128h	128h
	人件費	482	591	532	532	532
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	3,971	4,057	3,868	3,870	4,183
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{20.0}{20.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	消防活動の拠点施設として機能維持について、災害発生時に支障がきたさない様に配慮して行なえた。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	複雑多様化する災害に備えるという意味においても、施設の機能維持は欠かせないものである。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	現状は主に支障が生じた部分に修繕を実施しているが、経年劣化等に対応するためには、事前に計画的に修繕を実施した方が効率的と考えられる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	基本的に市町村単位で消防全般の責務を負っており、県・民間との分担及び転換の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	消防庁舎を適正に維持補修することにより、災害発生時に早急な対応をとることができる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	複雑多様化する災害に対応するためには、その拠点となる施設の維持補修は消防力の強化面からも必要である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 老朽化が進む施設もある中、施設の機能維持は災害に対応するためにも欠かせないものである。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 年々災害が増加していることなどから、設備機能の維持補修コストを削減することは難しい。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	他都市においても同様に執行している。
	<p>今後の進め方</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 完了</p>		
		説明	本事業に関しては、24時間災害発生時において瞬時に対応するために、消防活動の拠点施設として、施設の維持補修は必要不可欠である。

8 二次評価における変更点

--